熊ん蜂

発行 熊野寮
1982 10.28

寮友不当逮捕糾弾!!

我々は、まずもって10月27日の『「基本方針」撤回、寮斗争勝利』集会での我々の全くの正当なデモンストレーションに対して、国家権力ー機動隊と学生部当局が一体となって行ってきた不当弾圧、とりわけ寮友一名の不当逮捕を満腔の怒りをもって徹底的に糾弾する。

今や敵ー学生部の正体は完全に暴露された。我々ペテン的「基本方針」を一方的に通告し、我々との話し合いに一切応ずることなく、我々の生活を破壊する、そして「基本方針」撤回を要求する我々の行動に対しては、国家権力の暴力装置、機動隊を動入してまでも圧殺しようとする。これこそ彼らのやり方なのだ。しかし、我々は断じて屈服しはしない。「基本方針」の全面的具体化を阻止し、全学の力でこれを撤回させるまで断固として斗い抜くことをここに宣言する。

《全学集会》300名で決起す

この日、集会は12時30分より開始され、我々の斗う意志の如くこたえるべくヤグラの前は300名の学友・寮友で埋めつくされた。まず吉田寮自治会、そして熊野寮自治会が登壇し、「基本方針」が狙うものは、吉田寮・熊野寮の新々寮化であり、この新々寮なるものは国家総動員体制構築をささえる教育を担い切らんが為に政府ー文部省が打ち出しているものだと訴えた。そして10日間に渡るヤグラ防衛戦の勝利と、教養部に於ける我々の情宣活動の切り拓いた地平を確認した上で、「基本方針」撤回の大衆陣型を構築する為に、「基本方針」撤回要求署名を開始することが、燃えるような決意をもって提起された。その後、室町寮自治会、女子寮有志より四寮団結して当局の負担区分通告を粉砕していく斗う決意が述べられた。また学内の斗う学友諸団体（同学会、文学部自治会、農学部自治会、C共斗、ビワ湖研、刑事研、狭山を斗う会）から寮斗争への固い連帯のアピールがなされ、寮への攻撃が、個別寮生の問題なのではなく、全学にかけられた攻撃であることが確認された。更に一回生から、寮問題について自らのクラスで討論し、寮斗争への理解をかちとっていくべく頑張るという力強いアピールがあり、最後に集会基調が、万雷の拍手で確認され集会を終えた。

我々は、この後、教養部内でデモンストレー→

弾圧をはねのけて斗うぞ

→ションを200名の圧倒的隊列で貫徹し、学生部・時計台へと進撃した。通行する学友の注目の中、学生部長神野、総長沢田に対する怒りの声を叩きつけた後、我々は再び教養部へと向った。その時である。吉田参道の歩道にいた寮友一名に私服刑事が群になって襲いかかり、これを奪還せんとした我々の隊列に対し、機動隊はジュラルミンの楯をふりかざし暴行を加えたのである。我々は、機動隊、公安刑事を導入し、寮友一名を全く不当に逮捕させた大学当局ー学生部を断固糾弾する。この弾圧こそ、寮斗争を中心で担う寮生を逮捕し、力で寮斗争を解体せんとする攻撃だ。新に集会で確認された「基本方針」撤回全学署名を即座に開始し、学内大衆とともに、神野学生部長を話し合いにひきずり出し、この反動的「基本方針」撤回をかちとるための斗争に断固として進撃することを宣言する。

学友諸君!!共に斗わんぞ!!

寮友一名不当逮捕糾弾!!
緊急抗議集会 10月28日(木)正午 ヤグラ前広場於

完全黙秘、非転向で斗い続けている宮中同志に連帯し共に斗おう!!

熊野寮自治会 救援カンパの集中を